青森市高齢者福祉·介護保険事業計画第8期計画 進捗状況 (令和3年度実績)

青森市高齢者福祉・介護保険事業計画第8期計画 進捗状況の概要

〇令和3年度自己評価結果一覧

	基本方向	施策番号	施策名	自己評価	ページ番号
第1章	介護予防・生きがいづくりの推進	1-1	介護予防・重度化防止の推進	0	2
第1早 	月 暖 1 例 ・ 主さかい フトリック推進	1-2	生きがいづくりの推進	0	3
		2-1	在宅医療・介護連携の推進	0	4
		2-2	認知症施策の推進	0	5
第2章	地域包括ケアの推進	2-3	地域包括支援センターの機能の充実	0	6
万4年	地域已10クケッカに進	2-4	見守り・支え合いの推進	0	7
		2-5	住まいの充実	0	8
		2-6	安全・安心な暮らしの確保	0	9
第3章	尊厳が守られる暮らしの実現	3-1	成年後見制度の利用促進	0	10
- 第○早 	导風が引り組む春りしの美児	3-2	虐待防止対策の強化	0	11
		4-1	介護サービスの充実	0	12、13
第4章	適正な介護サービスの提供	4-2	介護サービスの適正化	0	14
		4-3	災害・感染症対策に係る体制整備	Δ	15

施策数:13

区分ごとの内訳

自己評価	施策数	
0	7	(54%)
0	5	(38%)
\triangle	1	(8%)
×	0	(-)
計	13	(100%)

<評価基準>

, VIII 1941	- ' '				
区分	評価基準	目安			
四次	叶顺 盔毕	目標とする指標の達成率			
0	順調に進捗している	達成率80%以上			
0	概ね順調に進捗している	達成率60%~79%			
Δ	やや進捗が遅れている	達成率30%~59%			
×	進捗が遅れている	達成率29%以下			

- ・自己評価に当たっては、達成率を基本に事業の実施状況等を踏まえ総合的に評価します。
- ・目安は、進捗状況を確認するための基準として県から示されたもので、県内一律となっています。

青森市高齢者福祉・介護保険事業計画第8期計画 自己評価シート

第1章	介護予防・生きがいづくりの推進					
施策番号	1-1	施策名	介護予防・重度化防止の推進			

× 進捗が遅れている(目標とする指標の達成率29%以下) 施策 自己評 主な取組 日標とする指標 令和3年度の実施内容 評価理由 課題 対応策 番号 価結果 ○つどいの場への参加率 ○介護予防活動の ○一般介護予防事業 新型コロナウ 高齢者のつどいの ロコモ予防体操等の指導者や理 (第1号被保険者に占めるつどいの場への参加者数の つどいの場にロコモ予防体操等の指導者を派遣 イルス感染症感場への参加者数は 学療法士等のリハビリテーション 推進 割合) 染拡大防止のた 年々増加しています 専門職の派遣、ボランティアポイ した回数 196回 (R2:321回) 単位 R1 R2 R3 R4 R5 め、「健康講座」が、参加率(実参加レトの付与による人材の確保、開 ○フレイル予防の ボランティアポイント制度対象事業のうち介護 目標値 % 6.0 6.5 7.0 |等健康教育総参||者数/高齢者人口)||催回数に応じた運営費支給により| 推進 予防の活動を行った活動者数と活動ポイント数 宝績値 % 5.2 4.2 4.9 |加者数|及び |は、4.9%(令和3年 |住民が主体的に介護予防活動に取 377人、3,597ポイント 達成率 - - 81.7% ○健康づくりの推進 (R2:805人、9,407ポイント) 「つどいの場を | 度末)と認知症施策 | り組むことができるよう支援を継 週1回以上開催 推進大綱等で示され 続します。 ○ポピュレーションアプローチの実施 ○多様なつどいの場 している地区社ている目標である また、地域で活動するつどいの ○後期高齢者医療訪問指導事業 圏域数 の提供 [ポピュレーションアプローチ] 会福祉協議会 8%に満たないこと 場に加え、地域に関わらず参加で (つどいの場等において、以下を実施した日常生活 ・フレイル予防の健康教育等を実施した回数、圏域 数」は目標に達から、より参加しやきる新たなつどいの場として、 圏域の数) ○自立支援・重度化 ・フレイル予防の健康教育・健康相談 しなかったものすい仕組みづくりが「まちなかいきいきサロン」を開 21回、11圏域 (R2:2回、11圏域) ・フレイル状態の把握・保健指導 催し、幅広い参加の機会の確保に ※青森市地域包括支援センターへ業務委託 の、その他の指 必要です。 防止の推進 ・ 必要なサービスの利用勧奨 標は達成率が 努めます。 [ハイリスクアプローチ] ・(受診行動適正化)医療機関の頻回・重複受診者へ 年度 単位 R1 R2 R3 R4 R5 80%以上であっ 高齢者が自立した 目標値 圏域 11 11 の保健指導実施人数 35人 (R2:52人) たこと 日常生活を送るため リハビリテーションや栄養の専 実績値 圏域 に、介護予防・重度「門職を派遣し、自立支援・重度化 11 11 ・(低栄養防止)体重減少者等への栄養指導実施人数 達成率 - 100.0% 211人 (R2:20人) ・生活の中で気化防止の視点が必要防止に向けた検討・支援を行う地 (重症化予防) 糖尿病治療中断者への受診勧奨実施 軽に立ち寄れるです。 域ケア個別会議(自立支援型会 ○健康講座等健康教育総参加者数 「まちなかいき 議)を開催し、介護予防・重度化 人数 7人 (R2:6人) (市民の更なる健康寿命の延伸に向け、市民のヘル ・ (健康状態不明者の状況把握) 健診・医療未受診者 いきサロン」を 防止に取り組みます。 スリテラシーの向上を図る目的で開催する健康講座 開催し、新たな の状況把握人数 336人 (R2:278人) 等への総参加者数) つどいの場づく 年度 単位 R1 R2 R3 R4 R5 りを行ったこと ○壮年期健康教育事業 ほか 目標値 人 - 27,000 27,000 27,000 ・医師、保健師、栄養士による健康教室・健康講座 実績値 人 23,134 6,782 6,030 1 - 1(母子保健・成人保健分野) の総参加者数 新たに介護予 達成率 防・重度化防止 6,030人 (R2:6,782人) ※新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から 健康講座等の一部中止や人数制限を行った上 の視点での地域 での開催としたため、参加者数は減少しました。 ○こころの縁側づくり事業 ケア会議を開催 ・地域のつどい(地区社会福祉協議会単位に行う したこと ○つどいの場を调1回以上開催している つどいの場)を開設した地区社会福祉協議会の 地区社会福祉協議会数 地区数と開催筒所数 などから、概ね (つどいの場を週1回(年間48回)以上開催している 順調に進捗して 37地区、103箇所(R2:38地区、106箇所) 地区社会福祉協議会の数) ・まちなかいきいきサロン(生活の中で気軽に立ち います。 年度 単位 R1 R2 R3 R4 R5 寄れるつどいの場の開催筒所数と開催回数 38 目標値 地区 26 32 2箇所 3回 (R3新規) 実績値 地区 15 14 達成率 - 3.8% ○地域ケア会議推進事業 ※新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から ・自立支援型会議開催回数 3回 (R3新規) 開催を自粛した期間が長かったため、必要回 数を開催できた地区社会福祉協議会は減少し ○介護サービス適正化実施指導事業 主した. ・ケアプランの点検件数 41件 (R2:45件) うちアドバイザーによる点検 2件(R2:0件) ○要介護等認定率 (第1号被保険者に占める要介護・要支援認定者数の 年度 単位 R1 R2 R3 R4 R5 目標値 % 19.4 19.4 19.5 19.5 19.5 実績値 % 19.5 19.4 19.5 達成率 99. 5% 100. 0% 100. 0%

<評価基準> ()内は評価の目安

◎ 順調に進捗している(目標とする指標の達成率80%以上)

概ね順調に進捗している(目標とする指標の達成率60%~79%) やや進捗が遅れている(目標とする指標の達成率30%~59%)

第1章 介護予防・生きがいづくりの推進					
	施策番号	1-2	施策名	生きがいづくりの推進	

- <評価基準> ()内は評価の目安
 ◎ 順調に進捗している(目標とする指標の達成率80%以上)
 概ね順調に進捗している(目標とする指標の達成率60%~79%)
 △ やや進捗が遅れている(目標とする指標の達成率30%~59%)
 × 進捗が遅れている(目標とする指標の達成率29%以下)

						る(日標とする指標の達)	以平2970以下)
施策 番号	主な取組	目標とする指標	令和3年度の実施内容	自己評 価結果	評価理由	課題	対応策
1-2	○生きがいづくりの充実 ○高齢者の就業促進 ○外出手段の確保	(老人クラブに加入している人数) 「年度 単位 R1 R2 R3 R4 R5 目標値 人 6,764 6,794 5,817 5,817 5,817 実績値 人 5,419 4,946 4,587 達成率 80.1% 72.8% 78.9% ※R2までは老人クラブ連合会に加入している公員数、R3からは老人クラブ連合会に加入している公司も含む。 ○シルバー人材センター会員の就業率(就業したシルバー人材センター会員の創合) 「年度 単位 R1 R2 R3 R4 R5 目標値 % 78.0 78.0 78.0 75.0 75.0 75.0 75.0 75.0 995.5% 96.0% 100.5% ○ 同齢者福祉乗車証所持者数(高齢者福祉乗車証を所持している高齢者数) 「高齢者福祉乗車証を所持している高齢者数) 「年度 単位 R1 R2 R3 R4 R5 目標値 人 37.063 37.496 39.159 39.364 39.569 実績値 人 38.749 38.914 38.824 達成率 104.5% 103.8% 199.1% ○ 同様の表別では、 104.5% 103.8% 199.1% ○ 104.5% 103.8% 199.1% ○ 104.5% 103.8% 199.1% ○ 104.5% 103.8% 199.1% ○ 104.5% 103.8% 199.1% ○ 104.5% 103.8% 199.1% ○ 104.5% 103.8% 199.1% ○ 104.5% 103.8% 199.1% ○ 104.5% 103.8% 199.1% ○ 104.5% 103.8% 199.1% ○ 104.5% 103.8% 199.1% ○ 104.5% 103.8% 199.1% ○ 104.5% 103.8% 199.1% ○ 104.5% 103.8% 199.1% ○ 104.5% 103.8% 199.1% ○ 104.5% 103.8% 199.1% ○ 104.5% 103.8% 199.1% ○ 104.5% 103.8% 199.1% ○ 104.5% 103.8% 199.1% ○ 104.5% 104.	 ○老人クラブ活動育成事業 ・補助金を交付している老人クラブ数 158団体 (R2:172団体) ・広報あおもり5/1号掲載 「老人クラブの活動を支援しています」 ○シルバー人材センター運営費助成事業 ・シルバー人材センター会員数 1,069人 (R2:1,139人) ・広報あおもり3/1号掲載 「シルバー人材センターに入会しませんか」 ○高齢者福祉乗車証交付事業 ・高齢者福祉乗車証がベ利用者数 1,892人 (R2:1,921人) ・高齢者福祉乗車証延べ利用者数 1,737,671人 (R2:1,753,744人)		多様化等の様々 な要因により、 老人クラブ加入 者数は年々減少	充実や高齢者の就業 促進を図るため、老 人クラブ及びシル バー人材センターの 会員数の拡大を図る 必要があります。	書きなり、

第2章	地域包括ケアの)推進	
施策番号	2-1	施策名	在宅医療・介護連携の推進

- <評価基準> ()内は評価の目安
 ◎ 順調に進捗している(目標とする指標の達成率80%以上)
 概ね順調に進捗している(目標とする指標の達成率60%~79%)
 △ やや進捗が遅れている(目標とする指標の達成率30%~59%)
 × 進捗が遅れている(目標とする指標の達成率29%以下)

施策	→ +> Tm / ⊓	□ ↓₩ ↑ → ७ ₩₽±₩	A10.5 to 0.05 to 1.05	l		李29%以下)	
番号	主な取組	目標とする指標	令和3年度の実施内容	自己評 価結果	評価理由	課題	対応策
2-1	○医療・推進○医療・携推進○医療・介護が連携○医療・サービスの普及・地域住民への普及・・・啓発	 ○在宅医療・介護連携のための多職種研修会参加数(医療・介護等の多職種研修会(グループワーク等)に参加した人数) 年度 単位 R1 R2 R3 R4 R5 目標値 人 135 127 182 達成率 - 89.2% ○在宅医療・介護連携のための連携会議開催回数(医療・介護等の多職種による連携会議の開催回数)(医療・介護等の多職種による連携会議の開催回数) 年度 単位 R1 R2 R3 R4 R5 目標値 回 - 1 1 1 1 1 接近 回 1 0 0 0 連成率 - 0.0% ※新型コロナウイルス感染症の影響により開催できなかったものです。 ○医療・介護連携に関する出前講座開催に市や地域包括支援センターが地域の会合等の場で普及活動を行った回数) 年度 単位 R1 R2 R3 R4 R5 目標値 回 12 112 17 17 17 17 接近 回 15 15 24 連成率 125.0% 125.0% 141.2% 	○在宅医療・介護連携推進事業 ・在宅医療・介護連携のための多職種研修会開催回数 1回 (R2:1回) 参加者数 182人 (R2:127人) ・在宅医療ケア知識向上研修会開催回数 4回 (R3新規) ・ 入退院調整ルールの手引きの改訂・配付 ・ 医療機関や介護事業所等に対する「在宅医療・介護連携」に関するデンケート調査 ・ 在宅ケアに関するチラシ「医療と介護」の改訂・配付 ・ 医療と介護に関する出前講座の開催開催回数 24回 (R2:15回) ・ 広報あおもり6/1号特集掲載「在宅医療と介護の連携」 ・ 広報あおもり1/15号掲載 「人生会議 (ACP)及びエンディングノートについて」	0	大防止のため、 を連携のための を連携会議は をのための でをがいる。 ででののは はたいのでである。 でのでする。 でのに 関載した がのに 関載した がのに 関載した がのに 関載した がのに 関載した がのに がのに がのに がのに がのに がのに がのに がのに	ら変まの供師援や協いのようなより目提医支種のはいるをいるをいるを関係をいるをはいるがある。とは、ののでいるをはいるのでは、ののでいるをでは、ののでいるをは、では、ののでは、ののでは、ののでは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	を図るためには、在宅療養生活を 支えるための知識や他の職種の職 務内容への理解が必要であるた め、医療・介護等の多職種による 会議や研修会等を開催することに より、医療・介護関係者の相互理 解と連携促進を図ります。

第2章	地域包括ケアの	推進	
施策番号	2-2	施策名	認知症施策の推進

- <評価基準> ()内は評価の目安
 ◎ 順調に進捗している(目標とする指標の達成率80%以上)
 概ね順調に進捗している(目標とする指標の達成率60%~79%)
 △ やや進捗が遅れている(目標とする指標の達成率30%~59%)
 × 進捗が遅れている(目標とする指標の達成率29%以下)

	1			× 進捗が進れてい	『遅れている(目標とする指標の達成率29%以下) 		
施策番号	主な取組	目標とする指標	令和3年度の実施内容	自己評 価結果	評価理由	課題	対応策
2-2	○支援体制の強化○認知症の早期発見・早期発見・認知症子院の推進○認知症に係る知識の普及・啓発	●認知症ステップアップ講座の開催圏域数 (認知症サポーターが地域の中で活動できるようにするための講座開催圏域数	 ○認知症高齢者対策事業 ・認知症申ボーター養成講座の開催開催回数 32回 (R2:30回)参加者数 933人 (R2:786人) ・タブレットを使用した脳の健康チェックの実施実施回数 32回 (R2:36回)参加人数 58人 (R2:134人) ○認知症総合支援事業 ・各地域包括支援センターへの認知症地域支援推進負の配置数 24人 (R2:16人) ・認知症カフェの開催回数 19回 (R2:69回) ・「認知症ケアパス」の更新医師会、薬剤師会への周知・認知症が要素剤師会、薬剤師会への周知・認知症初期集中支援チーム支援件数 1件 (R2:0件) ・医療機関向けケア向上研修開催医療機関 1か所 (R3新規)参加者数 5人 (R3新規) ・医療・介護職員等を対象とした認知症に関する研修会の開催回数 7回 (R2:9回) ・市民向けの認知症講座の開催回数 1回 (R2:0回) ・広報あおもり9/1号掲載 「認知症への理解を深めよう!9月はアルツハイマー月間」・広報あおもり1/15号掲載「認知症カフェ再開しています」 ○一般介護予防事業【再掲】 ・つどいの場にロコモ・予防体操等の指導者を派遣した回数 196回 (R2:321回) 		影響では、アイスをある。というでは、アイスでは、アイスでのアイは、アイスでのアイスでのアイスでのアイスをある。これでは、アイスを表し、アイスを、アイスを表し、アイスを、アイスを表し、アイスを表し、アイスを表し、アイスを表し、アイスを表し、アイスを表し、アイスを表し、アイスを表し、アイスを表し、アイスを、アイスを、アイスを、アイスを、アイスを、アイスを、アイスを、アイスを	家族に対する理解知音では、認知の正し対が、認知の正と呼びである。 認知の主題を対している。 認知の主題を対している。 おいまれば、 まいまれば、 まいまは、 まいままは、 まいまは、 まいまは、 まいまは、 まいまは、 まいまは、 まい	防止対策を図りながら認知症サポーター養成講座や医療・介護職員に対する研修を実施するなどし、認知症に係る知識の普及・啓発を行います。

第2章	地域包括ケアの	推進	
施策番号	2-3	施策名	地域包括支援センターの機能の充実

- 〈評価基準〉 () 内は評価の目安 ◎ 順調に進捗している(目標とする指標の達成率80%以上) 概ね順調に進捗している(目標とする指標の達成率60%~79%) △ やや進捗が遅れている(目標とする指標の達成率30%~59%) × 進捗が遅れている(目標とする指標の達成率29%以下)

× 進捗が遅れている(目標とする指標の達成率29%以下)							火率29%以下)
施策 番号	主な取組	目標とする指標	令和3年度の実施内容	自己評 価結果	評価理由	課題	対応策
2-3	○地域の体制○多機関との連携○多機関との連携○多機関との連携○水継・○水・○水・○水・○水・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	 地域包括支援センター、在宅介護支援センターへの研修会や情報共有を行った回数) 年度 単位 R1 R2 R3 R4 R5 目標値 回 - 13 13 13 13	○総合相談事業 ・相談支援件数 22,435件(R2:20,511件) ・地域包括支援センター連絡会担当者会議開催回数 12回(R2:12回) ○基幹型地域包括支援センター運営事業 ・人材育成(介護予防・重度化防止をテーマ) 研修会開催回数 1回(R2:1回) ・地域包括支援センターが対応した、問題やニーズを複合的に抱えている支援困難事例件数 50件(R2:84件) ・青森市地域密着型サービス等運営審議会における各包括支援センターの運営評価の実施回数 1回(R2:1回) ○地域ケア会議推進事業 ・地域ケア会議 141回(R2:143回) (内訳) 地域ケア会議 141回(R2:143回) (内訳) 地域ケア会議 3回(R3新規) 日常生活圏域ケア会議 3回(R3新規) 日常生活圏域ケア会議 14回(R2:16回) 地域ケア推進会議 2回(R2:2回)		大防止のため、活活にのため、活力し、地域の一大力ををしている。というでは、大力を対した。大力を対している。というでは、対力を対している。というでは、対力を対力を対力を対している。というでは、対力を対力を対力を対力を対力を対力を対力を対力を対力を対力を対力を対力を対力を対	や福祉ニーズの多を福祉ニーズの多を接ている。 一ズの多を接図。 一本に対域の強ります。 一本に対域の強ります。 一本に対域の強ります。 一本に対域の強ります。 一本に対域の強います。 一本に対域の強います。 一本に対域の強います。 一本に対域の強います。 一本に対域の強います。 一本に対域の表がある。 でも、ののあります。 ののもののもののものものものものものものものものものものものものものものもの	するニーズの増加、多様化に対応するため、令和3年度から地域包括支援センターの人員を4人から5人に増員し、地域包括支援センターの体制を強化しました。引き続き、人材育成を目的とした研修会や地域ケア会議の開催し、各地域包括支援センター職員の資質の向上を図ります。

	第2章	地域包括ケアの	推進	
F	施策番号	2-4	施策名	見守り・支え合いの推進

- <評価基準> ()内は評価の目安
 ◎ 順調に進捗している(目標とする指標の達成率80%以上)
 概ね順調に進捗している(目標とする指標の達成率60%~79%)
 △ やや進捗が遅れている(目標とする指標の達成率30%~59%)
 × 進捗が遅れている(目標とする指標の達成率29%以下)

施策 番号	主な取組	目標とする指標	令和3年度の実施内容	自己評 価結果	評価理由	課題	対応策
2-4	○見守り体制の強化○地域で支え合う 意識づくり○支え合い活動の 推進	○帰宅困難高齢者など帰宅困難となるおそれのある方のうち、市へ緊急連絡先等を事前登録した件数) 「年度 単位 R1 R2 R3 R4 R5 目標値 人 - 147 261 達成率 - 93.2% ○ 地域福祉サポーター制度への登録者数 (地域福祉サポーター制度への登録者数) 「年度 単位 R1 R2 R3 R4 R5 目標値 人 2,152 2,166 2,204 2,224 2,244 実績値 人 2,271 2,065 2,052 達成率 105.6% 95.3% 93.1% ○ 共助ネットワークが構築されている地区(地域支え合い会議等が恒常的に開催されている地区(地域支え合い会議等が恒常的に開催されている地区(社域支え合い会議等が恒常的に開催されている地区(社域支え合い会議等が恒常的に開催されている地区を社会福祉協議会数) 「年度 単位 R1 R2 R3 R4 R5 目標値 地区 38 38 38 38 38 実績値 地区 38 38 38 38 38 達成率 100.0% 100.0% 100.0% □	○高齢者見守り体制確保事業 ・見守り協力事業者として協定を締結した事業者数 (累計) 43事業所 (R2:39事業所) ・行方不明高齢者等の情報を事前登録し、みまもり配信した件数 4件 (R2:34中) ・帰宅困難高齢者等の情報を事前登録し、みまもりシールを配布した件数 114件 (R2:60件) ・青森圏域連携中枢都市圏内 (青森市、平内町、今別町、外ヶ浜町、蓬田村)で行方不明高齢者等の情報を共有する取組の実施 ○生活支援体制整備事業 ・地区カルテの整備・更新 (市内全38地区の地区社会福祉協議会・地域包括支援センターに配付) ・ボランティアボイント制度の運用地域福祉サポーター登録者数 2,052人 (R2:2,065人)※H29.10~制度開始 ・地域支え合い指人 製5人の時期あり) ・各地区の会議・研修等の活動参加数 223回 (R2:257回)		録福のつ目で ・推動加活集るワり場では、 地進にし課・た一組数サ録で値る 域員積、題解めクんのです。 大地的々情にネ築い地タ」概成 合域にな報繋ッにる地タ」概成 合域にな報繋ッにる場合では、 は、	や加ら等様民をり タ標り足るタや加ら等様民をり タ標り足るのおこれでは、がこれでは、がこれで帰事事よ続す 域のを今生とのがない。 福登下後じか維がか齢、域活が 一がお手がポサびがか齢、域活が 一がお手がポサびがかり要 ポ数てい念サびがかががかりまり はいいっしょう はいいい はいいっしょう はいいっしょう はいいっしょう はいいっしょう はいいっしょう はいいっしょう はいいっしょう はいいっしょう はいいっしょう はいいい はいいっしょう はいいい はいいっしょう はいいい はいいっしょう はいいっしょう はいいい はいいっしょう はいいい はいいいっしょう はいいいましょう はいいっしょう はいいい はいいい はいいい はいいいい はいいいいいい はいいいい はいいいい はいいい はいいい はいいいい はいいい はいいいい はいいいい はいいい はいいいい はいいいい はいいい はいいい はいいいい はいいいいいい	を指する守い高をやりりげ変した。 りりげ変した。 見付い高をや多をのでいるでいるでいるでいるでいるでいるでいるでいた。 ののでいるでやをのの、業活ができるできるでいるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできる

第2章	地域包括ケアの	推進		
施策番号	2-5	施策名	住まいの充実	

- 〈評価基準〉 () 内は評価の目安 ◎ 順調に進捗している(目標とする指標の達成率80%以上) 概ね順調に進捗している(目標とする指標の達成率60%~79%) △ やや進捗が遅れている(目標とする指標の達成率30%~59%) × 進捗が遅れている(目標とする指標の達成率29%以下)

× 進捗が遅れている(目標とする指標の達成率29%以下)							
施策 番号	主な取組	目標とする指標	令和3年度の実施内容	自己評 価結果	評価理由	課題	対応策
	○住宅改修等による居住環境の充実 ()高齢者に適した住まいの確保	 ○住宅改修費支給件数 (介護保険住宅改修費の支給件数) (介護保険住宅改修費の支給件数) (年度単位 R1 R2 R3 R4 R5 目標値 件 944 956 891 904 921 実績値 件 881 790 790 達成率 93.3% 82.6% 88.7% ○養護老人ホームに適切に措置した割合(養護老人ホームに入所する必要がある高齢者を適切に入所措置した割合) 年度単位 R1 R2 R3 R4 R5 目標値 % 1- 100 100 100 100 実績値 % 100 100 100 並成率 1- 100.0% 	 介護予防住宅改修費支払事務 ・介護予防住宅改修費支払事務 ・居宅介護住宅改修費支払事務 ・居宅介護住宅改修 554件 (R2:543件) ○サービス付き高齢者向け住宅登録事業 ・新規登録 0件 (R2新規登録:1件) 令和3年度末現在 計17施設542戸 ○養護老人ホーム入退所事務 ・本市入所者数		標て ・ム要切る なにすがる 養へなにこ ど進り	てでき等充り 及よる者まめへ必も生るに実ま 生びりこにい、の要もるる、居る 境的宅困、保老措り に対を養入が 理由活高なた一行。 新年をで修のあ 由にす齢住 ムう 型	有料老人ホーム及びサービス付き高齢者向け住宅におけるサービスの質が確保され、入居者が安心して暮らすことができるよう、引き続き定期的な一般検査の実施に努めます。

第2章	地域包括ケアの	推進	
施策番号	2-6	施策名	安全・安心な暮らしの確保

- <評価基準> ()内は評価の目安
 ◎ 順調に進捗している(目標とする指標の達成率80%以上)
 概ね順調に進捗している(目標とする指標の達成率60%~79%)
 △ やや進捗が遅れている(目標とする指標の達成率30%~59%)
 × 進捗が遅れている(目標とする指標の達成率29%以下)

					へ 進抄が進れてい	\る(目標とする指標の達♪ ▼	以 华 29%以下)
施策 番号	主な取組	目標とする指標	令和3年度の実施内容	自己評 価結果	評価理由	課題	対応策
2-6	○生活支援○災害時におけるの○災害・時福祉○災害・時福祉○災害・時福祉○災害・時福祉○災害・時福祉○災害・時福祉○災害・時福祉○災害・時福祉○災害・時福祉○災害・時福祉○災害・時福祉○災害・時福祉○災害・時福祉○災害・時福祉○災害・時福祉○災害・時福祉○災害・時福祉○災害・時福祉○災害・時福祉○災害・時福祉○災害・時福祉○災害・時福祉○災害・時福祉○災害・時福祉○災害・時福祉○災害・時福祉○災害・時福祉○災害・時福祉○災害・時福祉○災害・時福祉○災害・日本・日本・日本・日本・日本・日本・日本・日本・日本・日本・日本・日本・日本・	 ●生活支援サービスに関する出前講座開催回数) 年度 単位 R1 R2 R3 R4 R5 目標値 回 - 10 10 10 10 実績値 回 8 6 8 度成率 - 80.0% ●平時からの情報提供に同意した避難 (災害時に備え、平時から町 (内) 会、民生委員、警察署、消防署、避難支援者へ情報提供することに同意した避難行動要支援者の数) 年度 単位 R1 R2 R3 R4 R5 目標値 人 - 6,969 7,039 7,109 実績値 人 - 6,969 7,039 7,109 実績値 人 - 6,900 6,754 達成率 - 96.9% ○ 啓発事業などへの参加者数 (消費生活に関する各種啓発事業に参加した市民の人数) 年度 単位 R1 R2 R3 R4 R5 目標値 人 2,950 3,000 3,800 3,900 4,000 実績値 人 2,897 3,734 4,658 達成率 98.2% 124.5% 122.6% ○ 交通事故による高齢者の死者数 (青森市内において発生した、交通事故による65歳以上の高齢者の年間死者数) 年度 単位 R1 R2 R3 R4 R5 目標値 人 - 3 3 3 3 3 実績値 人 - 150.0% 	 ○生活支援サービスの充実 ・福祉ガイドブックへの掲載 ・要介護等認定者への「青森市高齢者福祉サービス一覧」の送付 ○福祉の雪処理支援事業 ・屋根雪処理費用の一部助成 627件 15,576,769円 (R2:321件 7,040,540円) ○在宅一人暮らし高齢者等の雪処理対策事業 ・間口除雪 12,814回 (R2:12,028回) ○青森市高齢者世帯等冬期除雪サービス事業 ・登録世帯数 41世帯 (R2:54世帯) ・延実施回数 1,119回 (R2:1,399回) ○防災訓練事業 ・青森市総合防災訓練 開催中止 (R2:参加住民119人) ○自主防災活動促進事業 ・自主防災活動促進事業 ・自主防災活動促進事業 ・消費者新育啓発活動推進事業 ・消費者相前講座 10回 418人受講 (R2:5回 37人) ・消費者利間パネル展 2日間 79人に啓発 (R2:2日間 111人) ・消費者被害防止活動 8回 1,281人に啓発 (R2:4回 740人) ・庁内関係課を通じた啓発活動[成人式等] 5回 1,759人に啓発 (R2:4回 1,725人) ○消費生活相談事業 ・青森市民消費生活センター相談件数 1,409件 (R2:1,521件) ・青森市相談窓口紹介ネットワーク活動員を通じた注意喚起情報提供 4回 1,121人に提供 (R2:4回 1,121人) ・青森市相談窓口紹介ネットワーク活動員に対する研修会 (R3:出前講座形式) 1回 23人受講 (R2:新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止) ○交通安全教育の推進 ・高齢者対象交通安全指導の実施状況開催回数 10回 (R2:2回) 参加者数 1,230人 (R2:70人) 		前をとい達と ・報た援をのはすた ・の助講はすて成 平提避者下、96るこ 豪設成座じる、し 時供難数回目のこと 雪置上催、標%と かに行はっ標%と 対に限催、標別の ら同動目た達をが 策よ額回目に以る の意要標も成達で 本りや数標つ上こ 情し支値の率成き 部、助	等事員す 避てに合況あ対が 欺脅た費ブる等業が。 避難、同でがり応あ 架等かな生ル必要度情かのるにす。 やのがかすにり 要度情かのるにす。 やのがかすにり 要度情かのるにす。 やのがかすにり ないこと表が な民件と関然ある 特財後らる防ま ど協ま 援お提たに合じ必 殊産を、ト止すこれが 大路 ない 大田 であま が ない	の実施にあたり、でもしまでも 提供にあたり、でもしまでも となかった方でも制度に でもも度の対応により の実施に同意しないより でもも度の対応によって を行いたが、 の実のは、 では、 の実のは、 では、 のないとか、 のないとが、 のないとが、 のないとが、 のないとが、 のないとが、 のないとが、 のないとが、 のないとが、 のないとが、 のないとが、 のないとが、 のないとが、 のないでは、 のないでは、 のないでは、 のないでは、 のないでは、 のないでは、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 の

	第3章	尊厳が守られる	暮らしの実現	見
ſ	施策番号	3-1	施策名	成年後見制度の利用促進

- <評価基準> () 内は評価の目安
 ◎ 順調に進捗している(目標とする指標の達成率80%以上)
 概ね順調に進捗している(目標とする指標の達成率60%~79%)
 △ やや進捗が遅れている(目標とする指標の達成率30%~59%)
 × 進捗が遅れている(目標とする指標の達成率29%以下)

施策番号	主な取組	目標とする指標	令和3年度の実施内容	自己評 価結果	評価理由	課題	対応策
3-1	○相談・支援体制の 充実○ 成年後見制度の利○ 市制等の利○ 市制等のの普及を○ 成年のの普及を	○成年後見活動について、地域ケア会議で検討を行う体制づくりができている 圏域数	○権利擁護事業 ・地域包括支援センターにおいて、成年後見制度に関する相談に応じた件数 97件 (R2:90件) ○成年後見制度利用支援事業 ・市長申立件数 45件 (R2:34件) ・報酬助成件数 74件 (R2:59件) ・報酬助成企額 15,005,730円 (R2:12,708,524円) ・市民後見人養成フォローアップ研修 67人 (R2:68人) ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、養成研修修了者へ成年後見制度に関する資料を送付 ・出前講座での成年後見制度の普及・啓発回数 「5圏域 10回 (R2:6圏域 13回) ※市が実施した出前講座 8回 (R2:6回)	0	対催をの ・を齢地検括はい ・の必つす回下 成必者域討支年る 成市要いる数回 年要へケす援々こ 年長なて修目た 見す支会地ン加 見立齢家会標も 人る援議域タし 制て者庭開値の 等高をで包一て 度がに裁	断齢る度必 の度るめ行い 年すを討必 かん	ため、引き続きは (長) 制度包括もしると、 (日) を表されてある図してでいる方が、 (力) を見ずをでいるが、 (力) を見ずをでいるが、 (力) を表する図したでのでは、 (力) を表する図したででは、 (力) を表するのでは、 (力)

第3章	尊厳が守られる	暮らしの実現	見 記
施策番号	3-2	施策名	虐待防止対策の強化

- <評価基準> ()内は評価の目安
 ◎ 順調に進捗している(目標とする指標の達成率80%以上)
 概ね順調に進捗している(目標とする指標の達成率60%~79%)
 △ やや進捗が遅れている(目標とする指標の達成率30%~59%)
 × 進捗が遅れている(目標とする指標の達成率29%以下)

+/- /-/-					へ、延汐が延布でも	へる(日標とする指標の達) ┃	第十23 70数 7
施策 番号	主な取組	目標とする指標	令和3年度の実施内容	自己評 価結果	評価理由	課題	対応策
3-2	○高齢者虐待の早期 発見・早期対応○高齢者虐待防止の 普及・啓発	○高齢者虐待の相談・通報に適切に対応した割合(関係機関と連携したケース対応等、高齢者虐待に関する相談・通報に適切な対応を行った割合) 年度 単位 R1 R2 R3 R4 R5 目標値 % 100 100 100	○高齢者虐待防止対策事業 ・養護者による虐待 通報件数 101件…うち虐待数31件 (R2:82件…うち虐待数29件) ・養介護施設従事者等による虐待 通報件数 10件…うち虐待数1件 (R2:1件…うち虐待数0件) ・やむを得ない事由による措置 措置件数 1件 (R2:0件) (契約による介護サービスの利用が著しく困難な高齢者を市長の権限によりサービス利用につなぐ) ・高齢者虐待の通報・相談窓口の周知広報あおもり8/15号掲載 「通報相談窓口」・介護事業所等への研修会 6回 (R2:2回) ※市が実施した研修会 2回 (R2:1回) ○青森市高齢者 1件 (R2:1件) (在宅の高齢者等を虐待等の理由で一時的に施設に避難させ、安全を確保する)		切に対応した割 合は目標値を達 成しており、 切な支援ができ	きる限り早期に発見し、早期に対応しなければならないため、より多くの市民が相談窓口を認識する必要があります。	応のため、引き続き、地域包括支援センター、医療・介護関係者、 民生委員・児童委員、警察等の関係団体との連絡体制を強化しま

第4章	適正な介護サー	-ビスの提供	
施策番号	4-1	施策名	介護サービスの充実

- <評価基準> ()内は評価の目安
 ◎ 順調に進捗している(目標とする指標の達成率80%以上)
 概ね順調に進捗している(目標とする指標の達成率60%~79%)
 △ やや進捗が遅れている(目標とする指標の達成率30%~59%)
 × 進捗が遅れている(目標とする指標の達成率29%以下)

施策	→ +> Tm 4□	口柵し十7七年	人 护 2 左连 3 由长 1 克	自己評		一句(日保とりる日保の注)	
番号	土な収租	目標とする指標	令和3年度の実施内容	価結果	評価理由	課題	対応策
4-1	○施サービスの○在宅サービスの○介護従事者の確保○業務の効率化○介向上	(介護老人福祉施設の在宅での待機者数)	○老人福祉施設整備費補助金交付事務 ・認知症対応型共同生活介護 1件 (医療法人蛍終会) ・定期巡回・随時対応型訪問介護看護 1件 (有限会社青森介護サービス) 計2件、交付額42,703千円 (R2:3件、104,420千円) ○施設開設準備経費補助金交付事務 ・認知症対応型共同生活介護 1件 (医療法人蛍慈会) ・定期巡回・随時対応型訪問介護看護 1件 (医療法人蛍慈会) ・定期巡回・随時対応型訪問介護看護 1件 (有限会社青森介護サービス) 計2件、交付額28,577千円 (R2:2件、20,649千円) ○包括的・継続的ケアマネジメント支援事業 令和3年度地域密着型サービス事業者の公募・選定結果 サービス種類 地域密着型介護を基本経体態設入所者生活介護 2 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0		数標なのつをこ ・確報い概る ・簡にたは成 ・納目でに値か、い達と 介保提てねこ 申素適割、し 介率標いつをっ施て成 護に供は達と 請化切合目で 護に値るで成も整目で 等数標し 式標対つ値る 険い達とはでの備標い 者るに値で 等準応いをこ 料で成はでの備標の の情つをい の化して達と 収はし目き に値る	も設加ら祉画年にビスめま 化材るきにすす 懸かサたにする (本) では、 (大) で、	きめのス 連分情す 化もにお資に。 相、内とな押金が入めりているをでどと護修ま 素と場け率 催のす付の上でいるが、生の 引携野報。 今・にお資にの 引きしている は悪いない とび を きかいない と きゅう は しゅう は から は か

第4章	適正な介護サー	-ビスの提供	
施策番号	4-2	施策名	介護サービスの適正化

- <評価基準> ()内は評価の目安
 ◎ 順調に進捗している(目標とする指標の達成率80%以上)
 概ね順調に進捗している(目標とする指標の達成率60%~79%)
 △ やや進捗が遅れている(目標とする指標の達成率30%~59%)
 × 進捗が遅れている(目標とする指標の達成率29%以下)

金衣物理 1月曜日本日本日本 1月曜日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本							いる(目標とする指標の達成率29%以下)		
の推進	施策 番号	主な取組	目標とする指標	令和3年度の実施内容	自己評 価結果	評価理由	課題	対応策	
	4-2	の推進○介護サービスの質の確保	(介護支援専門員が作成したケアプランの記載内容に関する点検件数) 年度 単位 R1 R2 R3 R4 R5 目標値 件 69 80 55 56 57 実績値 件 53 45 41 達成率 76.8% 56.3% 74.5%	・要介護認定の適正化件数 11,342件(R2:11,224件) ・ケアプランの点検件数 41件(R2:45件) ・住宅改修等の点検件数 37件(R2:60件) ・給付実績を活用した情報の点検件数 294件(R2:241件) ・介護給付費通知回数 2回(R2:2回) ・ケアプラン検証会議の開催回数 0回、件数0件(R2:0回、0件) (生活援助の訪問回数の多いケアプランの届出 ・検証) ○在宅医療ケア知識向上研修会(R3新規) 開催回数 4回、参加者数 149人(青森市分) ○基幹型也括支援センター運営事業 ・基幹型地域包括支援センター運営事業 ・基幹型地域包括支援センター研修会 開催回数 1回、参加者数 63人) ○介護保険関連施設等指導監査事業 ・実地指導 実地指導等の実施率 11.0% 78/707事業所 (R2:8.9% 64/716事業所) ・集団指導 開催回数 1回 (R2:1回) 開催期日 R4.3.18 (R2:R3.3.16) ※ホームページへの資料掲載日 参加事業者数 751事業所(R2:735事業所) ・集団指導 開催回数 1回(R2:1回) 開催期日 R4.3.18 (R2:R3.3.16) ※ホームページへの資料掲載日 参加事業者数 751事業所(R2:735事業所) ※新型コロナヴィルスの影響により会場での説明は行わず、ホームページへの資料掲載し質問票、受講確認票を受付 ・新規介護サービス事業者等説明会 開催回数 1回 (R2:2回)		の目か他つどこ ・イ影修なのジと修こ ・実値た指護者催 な順点標っのいおと 新ル響会か、ヤし会と 「施にも導サ等し ど調検値た点てり 型ス等はっケーたを 実率達の及一説た かに件にも検概実 コ感に開たア等同開 地」しのびビ明こ ら進数達の項ね施 口染よ催もマを様催 指はな、新ス会と 、捗」しの目予し ナ症りでのネ対のし 導目か集規事を 概しはな、に定た ウの研き 象研た 等標っ団介業開 ねて	り増ら率検のをす コ症等をこり増ら率検のをす コ症等をこれる おり響んという かけい かり	イザーによるケアプラン点検やケアプラン検証会議を有効に活用するとともに、ケアマネジャー研修会などを通じて介護給付の適正化の推進を図っていきます。 今後は各施設の状況を踏まえて、より効率的な方策を探りながら効果的な実地指導等の実施に努めます。	

第3章	適正な介護サー	-ビスの提供	
施策番号	4-3	施策名	災害・感染症対策に係る体制整備

- <評価基準> ()内は評価の目安
 ◎ 順調に進捗している(目標とする指標の達成率80%以上)
 概ね順調に進捗している(目標とする指標の達成率60%~79%)
 △ やや進捗が遅れている(目標とする指標の達成率30%~59%)
 × 進捗が遅れている(目標とする指標の達成率29%以下)

施策 番号	主な取組	目標とする指標	令和3年度の実施内容	自己評 価結果	評価理由	る(目標とする指標の達) 	対応策
4-3	○災害対策に係る体制の充実 (係る体制の充実) (原る体制の充実) (原本制の充実) (原本制の元素) (原本制度) (原	● 自然災害発生時における業務継続計画 (BCP) の策定率 (自然災害発生時における業務継続計画 (BCP) を策定した介護施設・事業所の割合) 年度 単位 R1 R2 R3 R4 R5 目標値 % - 33 G7 100 実績値 % - 12.9 達成率 - 39.1% ○新型コロナウイルス感染症発生時における業務継続計画 (BCP) の策定・統型コロナウイルス感染症発生時における業務継続計画 (BCP) を策定した介護施設・事業所の割合) 年度 単位 R1 R2 R3 R4 R5 目標値 % - 33 G7 100 実績値 % - 30.6% ○ 30.	○介護サービス事業者指定事業(中核市) ・自然災害発生時における業務継続計画策定事業所数 74事業所/573事業所 (12.9%) ・感染症発生時における業務継続計画策定事業所数 58事業所/573事業所 (10.1%) ・国のガイドラインや研修会の周知のほか、市の集団指導における資料説明などにより、事業者に対し事業継続計画 (BCP) 策定の支援を行った。		率が目標値を下 回っていること から、やや進捗 が遅れていま す。	を確認したところ、	め、市のホームページにおいて、 国が示すガイドラインを掲載する など周知の強化を図ります。